

返金方法

- ・返金時にはお渡し済みの領収書をお預かりして修正した領収書をお渡しください。
- ・領収書の印鑑でクレジットまたは現金扱いかを判断して返金をお願いします。

現金でお預かりした分は現金でクレジットでお預かりした分はクレジットへお返しします

患者様が領収書をお持ちでない場合にはレジの記録から現金かクレジットかを

検索する必要があります。

- ・クレジットの場合にはクレジットの控え（伝票番号）が必要になります。

クレジットの控えをお持ちでない場合にはクレジットの伝票を調べる必要があります。

返金作業

SIPS 連携から対象（患者・金額）を選択します。出てこないときは検索ワードの欄に調剤日を例）2025/08/01 と入力すると入力した日の未会計データが出てきますので探してみてください。

対象データ選択後に小計ボタンを押すと普段の会計時と同じ現金またはクレジットの選択ボタンが出てきます。前回お預かりしたほうでご返金ください。

現金は現金を選択して現金で返却（釣銭機から返金金額が払い出されます）

クレジットの際はクレジットを選択します。取消・返品を選択画面がでてきます。

取消は決済当日・返品は当日以外です。該当の○にチェックを入れて選択ボタンを押してください。クレジット端末にデータが送られます。端末に返金する伝票（前回会計時にお渡ししたクレジット）の伝票番号を入力したらあとは普段のクレジット処理と同じになります。

SIPS 連携の画面で当日・全日がありますが全日でないと過去のデータは出ません

受付番号で会計情報は管理されているため、入力修正時に受付番号が変わると会計データが壊れて SIPS 連携では出てきません。返金するときに投薬があれば手打ちで一部負担金を選択し、Keyboard で-20 など返金分を打つことで相殺することもできます。

返金が見込まれる場合又は返金の連絡事には領収書やクレジットの伝票を返金時にお持ち頂くようお願い下さい。領収書や伝票をお持ちでない場合には確認作業の為、返金が後日になる場合があることをお伝え下さい。